

現在の中学2年生から

京都府公立高校の 入試制度が変わります

令和9年度

入学者選抜から

※令和9年2月に実施する選抜です



1. 受検回数を2回へ

2. 現行制度と同様に複数校の志願が可能

3. 検査日は2月中下旬

4. 令和9年度入学者選抜から実施

5. 電子出願の導入

ポイント1 受検回数を2回へ

受検生の負担軽減等の観点から、現行制度で実施している前期・中期・後期の3回の選抜のうち、前期と中期を一本化し、「前期選抜（仮称）」と「後期選抜（仮称）」の2回とします。

※「後期選抜（仮称）」は、「前期選抜（仮称）」実施後、相当の欠員が生じた場合に実施

ポイント2 現行制度と同様に複数校の志願が可能

「前期選抜（仮称）」では、各高校の特色に応じた検査項目・配点により多角的に評価する「独自枠（仮称）」と、共通の検査項目・配点により評価する「共通枠（仮称）」の2つの枠を設けて選抜を行います。

「独自枠（仮称）」は1校1学科等、「共通枠（仮称）」は最大3校3学科等への志願を可能とし、両方志願することで、現行制度同様、最大4校4学科等への志願が可能です。

※「独自枠（仮称）」「共通枠（仮称）」では同一校を志願することも可能。また、いずれかのみでの志願も可能

ポイント3 検査日は2月中下旬

新たな「前期選抜（仮称）」の検査日は2月中下旬とし、現行の選抜日程よりも選抜期間の短縮化を図るなど、中学生にとって受検しやすい選抜日程を設定します。

※詳細は裏面イメージ図参照

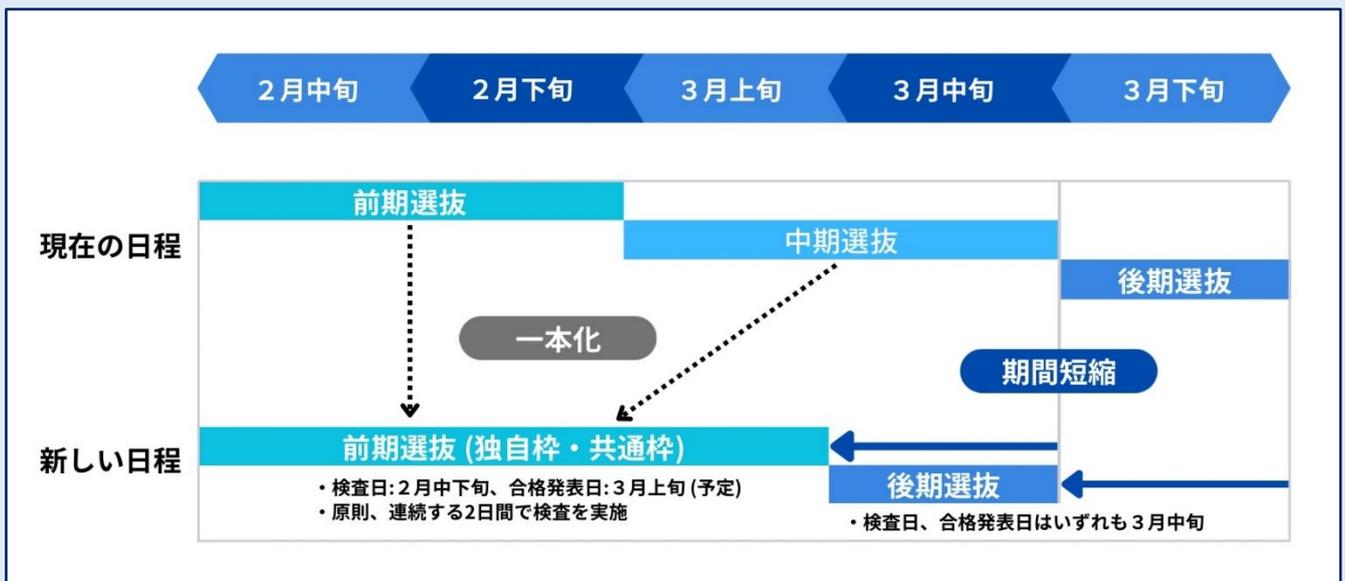
ポイント4 令和9年度入学者選抜から実施

現在の中学2年生が令和9年2月に受検する令和9年度入学者選抜から実施します。

ポイント5 電子出願の導入

生徒・保護者の利便性向上や入試手続きの負担軽減の観点から、電子出願を導入します。

変更のイメージ



Q&A

Q 「独自枠」の検査項目にはどのようなものがありますか？

A 面接、作文（小論文）、活動実績報告書、実技検査、共通学力検査、学校独自学力検査などがあります。

各高校が特色や「求める生徒像」に応じて設定します。

Q 学力検査の点数・教科数や報告書の配点はようになりますか？

A 「独自枠」の教科数や配点については、各高校が設定します。

なお、「共通枠」については、現行の中期選抜同様、学力検査200点（40点×5教科（国語、社会、数学、理科、英語））で、報告書は、中学校3年間の必修教科の合計195点（音楽、美術、保健体育、技術・家庭の評定は2倍）となります。

Q 各高校が定める「独自枠」の検査項目や新しい制度の内容についてもっと詳しく知る方法がありますか？

A 令和7年6月中下旬に各校の独自枠の検査内容等をホームページ（以下二次元コード参照）で公表予定です。

また、今後、様々な情報をホームページで公表していきます。



Q 検査当日体調不良の場合、どうしたらよいですか？

A 検査当日、体調不良等やむを得ない理由によって欠席した方を対象とした追検査を実施しています。新制度では、追検査までの期間を1週間程度設ける予定ですので、安心してください。

Q 選抜ごとに出願資格が異なる海外勤務者帰国子女や長期欠席者等の特別入学者選抜はどうなりますか？

A 「独自枠」での実施も含め、在り方について検討しています。